



静岡大学工学部
海外研究室交流プログラム (SSSV)
2015年度成果報告

機械工学科 朝間研究室

実施日：2016年3月5日～

交流大学-研究室

カリフォルニア工科大学

California Institute of Technology (Caltech)



カリフォルニア工科大学

California Institute of Technology (Caltech)

- 世界大学ランキングで5年連続No. 1 (2016年)
(Times Higher Education World University Rankings)
- 学生対教員の比が3:1
- 学部生 : 約980人, 大学院生 : 約1200人



Prof. Joel Burdick group

- Division of Engineering and Applied Science,
Department of Mechanical and Civil Engineering
- ロボット工学が専門
Jet Propulsion Laboratory (JPL) との共同研究
 - 極地・火星探査ロボット : Moball
 - 4足歩行ロボット : RoboSimian
 - 急勾配地形探査ロボット : Axel
- 脊髄損傷患者の運動能力回復プロジェクト
Caltech, UCLA, Univ. of Louisville と共同

参加学生



山本陽, M2

SVでのカリフォルニア滞在が2回目。その経験から、現地人と英語で積極的に会話、質問し、行動にも余裕が見えた。頼りになる最年少チームリーダー。



大井匠, M1

初めての海外であったが、経験のある仲間と一緒にいたせいか、事前準備も怠らず、特に問題なさそう。やや体調が悪かったが、根性で乗り切って大丈夫。



藤井勇介, M1

SVでのカリフォルニア滞在が2回目。滞在中、英語を話すことで、普段使わない口周辺の筋肉を使ったせいか、頬肉痛になったのが印象的だった。

主な日程

- Day 1 : 到着, ホテルチェックイン
- Day 2 : サイエンスセンター見学
- Day 3 : Calnetix Technologies社見学
- Day 4 : Launch Point Technologies社見学
- Day 5 : Caltechにてシンポジウム&JPL見学
- Day 6 : 車でパサディナ→ヨセミテ
- Day 7 : ヨセミテ国立公園
- Day 8 : サイエンスアカデミー見学
- Day 9 : 帰国(サマータイム突入)

Day 1 : 到着, ホテルチェックイン

- LAX到着後, パサディナへ移動. 前回と違うSaga Motelにチェックイン
 - 節約のため3人一部屋, ツインルーム.
 - ジャンケンで勝った人が一人で寝れる



アメリカ到着



Saga motel

Day 2 : サイエンスセンター見学

- 毎回恒例. やっぱリエンデバーを見ないと.



ランチは飛行機の見えるイネナ



エンデバー



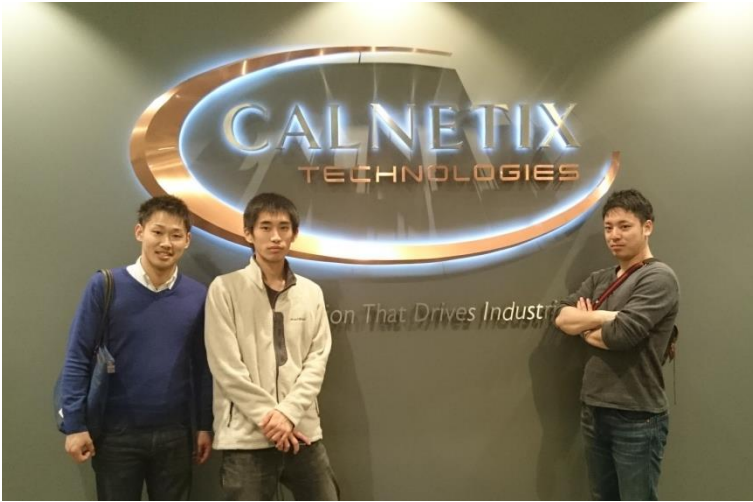
2013年度 渡邊さんと



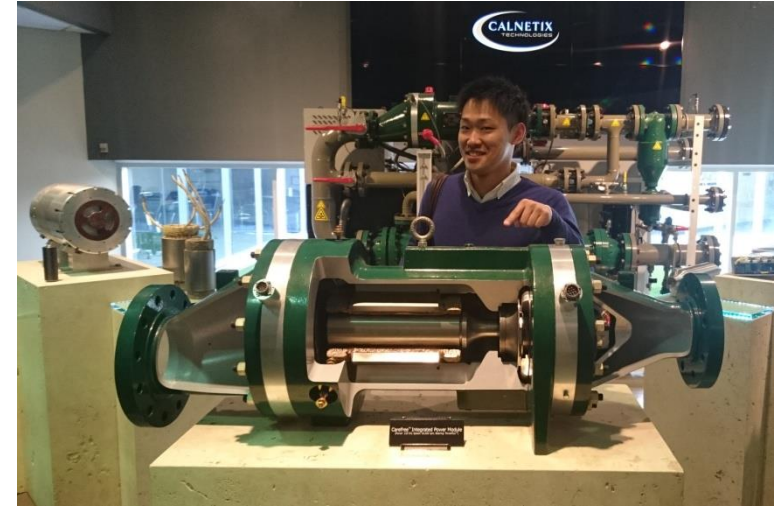
2015年度 陽君と

Day 3 : Calnetix Technologies社見学

➤ 高速回転機の研究開発



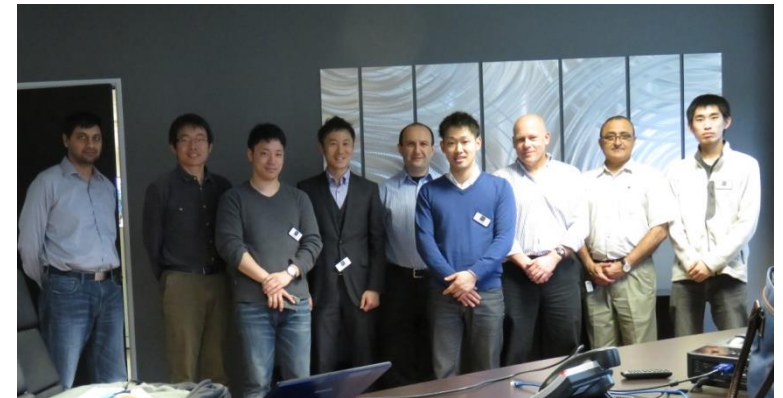
エントランスにて



ポンプ



工場内



集合写真

Day 4 : Launch Point 社見学

➤ 高出力モータの研究開発



会社前の通り



ランチをしながら自己紹介



ポンプなど

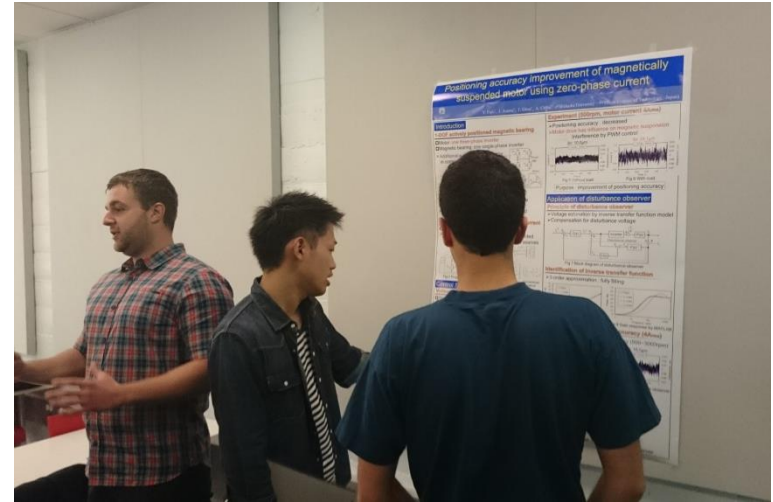


集合写真

Day 5 : Caltechにてシンポジウム&JPL見学



Caltech



熱い議論



管制室



探査機ローバー

Day 6 : パサディナ→ヨセミテ (移動日)



レンタカー



広大な土地



破天荒な積載



疲労が溜まり

Day 7 : ヨセミテ国立公園



ヨセミテ国立公園



山道へのゲート



広大な景色



雪にはしゃぐ三人

Day 8 : サイエンスアカデミー見学



外観



擬態した虫



爬虫類



水族館

感想

ポスターセッション

- なかなか英語で思い通りに説明ができない，伝えたいことを伝えられず，議論し足りなかった.
- 英語力の無さを痛感した.それでも，図を用いながら話すことで，少しは伝えられたと思う
- そもそも相手の言うことが聴きとれず，また相手の言うことが分かったとしてもどのように英語で表現したらいいのかわからなかった.

感想

アメリカ文化

- アメリカの食文化は基本的に量が多く，ドリンクのおかわりし放題だった
- 物を食べながら，私的な電話をしながら働く店員が目につき自由な国だと感じた
- 交通ルールにおいて，赤でも右折可能であることに驚いた
- 日本に比べて，貧困の割合が多く感じた

感想

本SVを通して

- 博士課程への進学と博士号の取得にも以前より興味・関心を持った。
- 異文化に刺激を受け、物の見方が広がった。今後、社会人生活に生かせればと思う。
- とにかく英語力不足を感じた。ただ、会話すると親切な人が多かったので、恐れず、もう少し積極的に話したい。